

2023年2月1日

子ども食堂支援 DX 化に向けた実証実験へ 冷凍食品を寄贈しました

～株式会社クラダシと慶應義塾大学 SFC 研究所が共同で実施した 内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム」における実証実験～

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）は、株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：関藤 竜也）が慶應義塾大学 SFC 研究所（所在地：神奈川県藤沢市、所長：飯盛 義徳）と共同で実施した、企業が保有する食品の情報と、食品の提供を希望する大阪府内の子ども食堂とのマッチングを行う実証実験に賛同し、当社冷凍食品を寄贈いたしました。

実証実験は、内閣府「戦略的イノベーションプログラム」における子供食堂支援DX化に向け、企業が抱える食品と子ども食堂のマッチングに係る課題を解決し、余剰食品を提供したい企業と連携することで、子ども食堂への円滑かつ迅速で安定的な食品提供を実現することを目的とし、2022年10月、12月に実施されました。

各企業が保有する商品の情報を、食品や生鮮の加工・流通、販売・消費、資源循環等におけるデータ共有を可能とする情報連携基盤である ukabis（ウカビス）に登録し、データを連携することで大阪府内の子ども食堂と食品のマッチングを行います。マッチングされた食品は、提供元企業の保管先からトラックもしくはタクシーを活用し子ども食堂へと提供されます。

当社が提供した食べられるにも関わらず、販売できなくなった冷凍食品は、実証実験の結果、大阪市内の子ども食堂計12団体へ寄贈されました。



▲実証実験イメージ

【寄贈商品】

1	「ブロッコリー 3種おかず」	:	998 袋
2	「ほうれん草 3種おかず」	:	602 袋
3	「3種LUNCHサラダ」	:	400 袋
4	「すぐに使えるきざみねぎ」	:	360 袋
5	「すぐできる豚汁の具」	:	245 袋
6	「ベーコン入りほうれん草ミックス」	:	54 袋
			冷凍食品合計 2,659 袋


【本件に関する問い合わせ先】

マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ
kankyoun@maruha-nichiro.co.jp